

山梨大学教育学部紀要

第34号

Vol.34 2023年度

目 次

共食がコミュニケーションのあり方に及ぼす影響：食べ物がない場合との比較 尾 見 康 博・永 瀬 花乃子	1
幼児期におけるリゾマティックな学びに関する研究 ー 5 歳児の遊びの変容プロセスに着目してー 大 野 步	15
中学生における主体的な学びとライフキャリア・レジリエンスの関連 ー 学習に対するメタ認知活動と動機づけに着目してー 田 中 健史朗	27
山梨県竹森鉱山産水晶の物性について 福 地 龍 郎・天 野 紗 来	37
山梨コア・サイエンス・ティーチャー（山梨 CST）養成事業の成果に関する追跡調査 ー 養成プログラムを受講した現職教師を対象にしてー 杉 山 雅 俊・佐々木 智 謙・松 森 靖 夫	51
高校生における文字式の理解に関する研究 ー 式をひとまとまりとみることに焦点を当ててー 清 水 宏 幸	63
Harabetian 型粘性を持つ保存則の Cauchy 問題に対する解の漸近挙動 吉 田 夏 海	75

Harabetian 型粘性を持つ保存則の Cauchy 問題に対する解の漸近的減衰	吉 田 夏 海	83
分析と総合の関係と社会科教育における段階的理解の研究	宇 多 賢治郎	93
「経済学」と「経済」教育の乖離 その9 社会科の目的に沿った金融市場の説明の研究	宇 多 賢治郎	111
ICT の利活用を核としたコロナ禍における生徒の学びを止めないための教育実践その2 ー同期型オンライン授業の実践を中心としてー	森 澤 貴 之・佐 藤 治 彰・荻 原 崇 青 柳 敬 大・関 原 寛 明・梶 原 隆 一 保 坂 伸・志 村 結 美	131
アメリカ高等教育ア krediteーションの起源に関する考察 ー 1900 年代の全米州立大学協会における議論に着目してー	吉 田 翔太郎	159
3Dプリンタとものづくり教育	佐 藤 博・山 主 公 彦	177
3Dプリンタを用いたコマ製作による教材開発	佐 藤 博・山 主 公 彦	185

Bulletin of the Faculty of Education The University of Yamanashi

Vol.34 2023

Contents

The effect of table talk on the nature of communication:

Comparison with and without food and drink

..... OMI Yasuhiro, NAGASE Kanoko 1

Research on Rhizomatic Learning in Early Childhood:

Focusing on transformation process of five-year-old children's play

..... OHNO Ayumi 15

Relationship between proactive learning and life-career resilience in junior high school:

Focusing on metacognitive activity and motivation

..... TANAKA Kenshiro 27

On the physical properties of quartz crystal produced from the Takemori Mine in Yamanashi Prefecture

..... FUKUCHI Tatsuro, AMANO Sara 37

Follow-up survey on achievements of the Yamanashi CST training program:

For the teachers after attending the training program

..... SUGIYAMA Masatoshi, SASAKI Tomonori, MATSUMORI Yasuo 51

A Study on Understanding of Literal Expressions of Students in High School Mathematics:

Focusing on Consideration of Compound Expressions as Single Objects

..... SHIMIZU Hiroyuki 63

Asymptotic behavior of solutions to the Cauchy problem for the conservation law with Harabetian-type viscosity

..... YOSHIDA Natsumi 75

Asymptotic decay of solutions to the Cauchy problem for the conservation law with Harabetian-type viscosity	YOSHIDA Natsumi 83
A Study of the Graded Understanding in Social Studies Education	UDA Kenjiro 93
A Gap between Economics and Social Studies Part9	UDA Kenjiro 111
Educational Practices for Keeping Students Learning During the Coronavirus Pandemic, Centered on the Use of ICT Terminals, Part 2: Focusing on the Practice of Synchronous Online Classes	MORISAWA Takayuki, SATO Haruaki, OGIHARA Takashi AOYAGI Takahiro, SEKIHARA Hiroaki, KAJIHARA Ryuichi HOSAKA Shin, SHIMURA Yumi 131
A Study of the Origins of American Higher Education Accreditation: Focusing on the discussion at the National Association of State Universities in the 1900s.	YOSHIDA Shotaro 159
3D Printer and manufacturing Education	SATO Hiroshi, YAMANUSHI Kimihiko 177
Development of teaching materials by top making using a 3D Printer	SATO Hiroshi, YAMANUSHI Kimihiko 185

2023年度（令和5年度）科学研究費

研究代表者

1) 挑戦的研究（萌芽）

- 「ALS患者の身体を行為連携社会につなぎとめる仮想現実「体育」空間」
(2020～2023年度) 木島 章文
- 「教科横断的な市民育成のための「言葉」「概念」に関する探索的研究」
(2023～2025年度) 後藤賢次郎

2) 基盤研究（B）

- 「集団協応の数理構造に基づく身体的社会性の仮想空間育成システム」
(2020～2024年度) 木島 章文
- 「高等教育における「リバーズ・ジェンダー・ギャップ」現象—東南アジアの国際比較」
(2022～2025年度) 鴨川 明子
- 「中近世キリスト教社会の「正しさ」をめぐる隠蔽・曖昧・心裡留保」
(2023～2026年度) 皆川 卓
- 「運動学習速度を規定する神経機序」
(2023～2026年度) 関口 浩文

3) 基盤研究（C）

- 「音楽と造形における共有原理の活用による音楽の理解の指導法研究」
(2017～2023年度) 小島 千か
- 「J. デューイの科学の教育過程に関する心理学的・社会学的研究」
(2018～2023年度) 梶原 郁郎
- 「伝建地区の生活文化継承を支えるコミュニティの創成と居住システムの構築に関する研究」
(2019～2023年度) 田中 勝
- 「東南アジア島嶼部における男子・男性のワークライフキャリア形成」
(2019～2023年度) 鴨川 明子
- 「ドイツにおける暴力予防教育プログラムに関する研究」
(2019～2023年度) 高橋 英児
- 「乳幼児期の学びの質を維持・向上させるカリキュラムマネジメントの開発に関する研究」
(2019～2023年度) 大野 歩
- 「社会構成主義に基づく探索的・主体的・対話的な保育者の専門性向上に関する研究」
(2019～2023年度) 秋山 麻実
- 「中等国語科文学教育における「語り手」概念の導入と展開、発展の道筋の解明」
(2019～2023年度) 齋藤 知也
- 「児童生徒のSNS利用行動と友人関係：「現代的」特徴の多義性をふまえた検討と応用」
(2019～2023年度) 若本 純子
- 「小学校体育科「体づくり運動」領域における基本的な動きの評価方法の開発」
(2019～2023年度) 中村 和彦
- 「かな成立史の研究」
(2020～2023年度) 長谷川千秋
- 「近世西欧の「君主鑑」の検討を通じたカトリック的理性観念の質的転換」
(2020～2023年度) 皆川 卓
- 「認知処理様式に基づいた文章理解・産出の指導—ICTを活用した学習過程の分析—」
(2020～2023年度) 永田 真吾
- 「家族内問題に対する教育的介入プログラムの作成」
(2020～2024年度) 川島亜紀子

「局所変形が与える結び目の幾何・代数の研究」 (2020～2024年度)	中村 拓司
「家庭科教員のキャリアステージに対応した養成と研修を繋ぐキャリア形成システムの構築」 (2021～2023年度)	志村 結美
「戦後初期の学校と地域の連携構想とその受容 ―高校と地域の互惠関係構築に着目して」 (2021～2023年度)	日永 龍彦
「国語教科書の伝記教材が推奨する【生き方・考え方モデル】の特質と年代的変遷の解明」 (2021～2023年度)	茅野 政徳
「感性アナライザとプロトコル分析を用いた描画過程解析に関する基礎的研究」 (2021～2023年度)	栗田 真司
「子どもの〈問い〉から主体的な学びを実現する図画工作科・美術科の授業に関する研究」 (2021～2023年度)	新野 貴則
「『文字文化』としての手書き文字の総合的理解および学習方略の研究」 (2021～2023年度)	清水 文博
「音楽の視覚化と絵画の音楽化による創造性育成の指導法研究」 (2021～2024年度)	小島 千か
「文字式を活用して問題を解決する力を育成する学習指導：理解の困難さの分析と授業実践」 (2021～2023年度)	清水 宏幸
「知的障害のある子どもの放課後生活を充実させるための支援体制の整備に関する研究」 (2021～2023年度)	松下 浩之
「知的障害を伴うASD児の教室環境における対話分析と対話機能の発達支援」 (2021～2024年度)	吉井 勘人
「中堅教師の専門性発達と異動の関係：個人の意識、職場環境、研修の3側面からの検討」 (2021～2023年度)	東海林麗香
「律令制と公民制の形成過程から見た7世紀史の再構築」 (2022～2025年度)	大隅 清陽
「夜着の模様と形の研究-日本の就寝文化の理解に向けて-」 (2022～2026年度)	岡松 恵
「感染対策をふまえた日伊・日台国際連携による触覚美術鑑賞ツール開発・実践研究」 (2022～2025年度)	武末 裕子
「歴史的町並み・集落にみる「減災の知恵」を活かした持続可能なまちづくりに関する研究」 (2022～2025年度)	田中 勝
「教職員の「働き方」におけるポジティブな違いに関する実証的研究」 (2022～2025年度)	平井貴美代
「英語授業における生徒の発話およびスピーキング力の育成を促進する教師発問の開発」 (2022～2024年度)	田中 武夫
「部活動が日本のスポーツにおけるケガへの寛容性にもたらす社会・文化的影響」 (2022～2025年度)	尾見 康博
「粘性保存則に対する時間大域解とその漸近挙動」 (2022～2024年度)	吉田 夏海
「セルロースナノファイバーによる植物由来ポリウレタン発泡体の流動性・発泡性制御」 (2022～2024年度)	森長 久豊
「日本型歴史理論の成立に関する思想史的研究」 (2022～2024年度)	佐藤 正幸
「時間反転波伝送と機械学習の協奏に基づく極低遅延光ファイバ通信システムの研究」 (2021～2025年度)	岡村 康弘
「アリストテレスの『弁論術』における「感情喚起を通じた説得」の位置づけの解明」 (2023～2025年度)	相澤 康隆

「平家文化」の実態解明に関する基礎的研究 (2023～2026年度)	小島 明子
「D. G. ロセッティ及び周辺の作家の人間（顔）の表象：19世紀英国の自然観の変容」 (2023～2027年度)	加藤 千晶
「日本語の真偽疑問文に対する応答に関する獲得研究」 (2023～2025年度)	磯部 美和
「語り」を多元化・相互行為化する物語標識の認知語用論研究 (2023～2025年度)	仲本康一郎
「メタヒストリー学習に基づく「社会に開かれた歴史教育実践」の実現化促進条件」 (2023～2027年度)	服部 一秀
「中学校理科教師の専門職資本の発達」 (2023～2026年度)	杉山 雅俊
「音楽聴取によるスプリントパフォーマンス向上メカニズムの探索と応用」 (2023～2025年度)	安藤 大輔
「運動部活動を媒介にした教育界のヘゲモニー獲得戦略としてのスポーツ伝播」 (2023～2026年度)	加藤 朋之
「発育期低栄養に起因する消化管ホルモンエピゲノム異常と慢性炎症との関連」 (2023～2025年度)	今井 千裕

4) 若手研究

「子どもの水への恐怖心を克服する効果的な指導方法の確立」 (2019～2023年度)	金沢 翔一
「発達上の課題・困難を有する非行少年の実態と再非行防止・発達支援に関する調査研究」 (2020～2023年度)	内藤 千尋
「子どもと教師のための「ヒトの循環系概念習得プログラム」の開発とその試行」 (2020～2023年度)	佐々木智謙
「妊娠中の栄養・生活環境要因の母児エピゲノムへの影響と妊娠経過および予後との関連」 (2020～2023年度)	今井 千裕
「教師志望学生の理科授業力量の育成に関する研究－省察を支援するプログラム開発－」 (2020～2023年度)	杉山 雅俊
「「チャタレイ事件」と1950年代の「文壇」概念の形成をめぐる基礎的研究」 (2021～2024年度)	尾形 大
「中高生の誤情報拡散を抑制するための指導方法の開発」 (2021～2024年度)	小野田亮介
「遠隔相談における援助スキルのガイドライン開発と効果検証」 (2021～2023年度)	田中健史朗
「ヘイトスピーチ規制の「承認論」による再構成の可能性とその限界」 (2021～2023年度)	菅沼 博子
「学習者主体の学びへの変容を促す小学校教師向け独学パッケージの開発」 (2022～2025年度)	三井 一希

研究代表者（分担者）

1) 挑戦的研究（萌芽）

「経皮的迷走神経刺激によるヒト運動系のニューロモジュレーション」	研究代表者 九州工業大学 准教授	小幡 博基
	本学分担者	関口 浩文
「行動解析と数理モデルによる城門防御機能の定量的評価：スポーツ科学からの挑戦」	研究代表者 新潟医療福祉大学 教授	山本 裕二
	本学分担者	木島 章文

2) 基盤研究 (A)

- 「境界研究の分析法を用いた国境・境界地域における基礎教育に関する国際比較研究」
研究代表者 東京海洋大学 教授 森下 稔
本学分担者 鴨川 明子
- 「移行期における学校数学カリキュラムのアラインメントに関する総合的研究」
研究代表者 筑波大学 教授 清水 美憲
本学分担者 清水 宏幸
- 「『学習指導要領体制』の構造的変容に関する総合的研究課題」
研究代表者 花園大学 教授 植田 健男
本学分担者 日永 龍彦
- 「対人運動技能の制御・学習の解明」
研究代表者 新潟医療福祉大学 教授 山本 裕二
本学分担者 木島 章文
- 「外交の世界史の再構築：15～19世紀ユーラシアにおける交易と政権による保護・統制」
研究代表者 東京大学 教授 松方 冬子
本学分担者 皆川 卓
- 「異言語環境下の子供達にどう学ばせるか：教科学習言語の「学びのデザイン」の国際比較」
研究代表者 立正大学 教授 所澤 潤
本学分担者 鴨川 明子
- 「複数の事前分布の学び分け：タイミング行動における神経基盤と心理物理学的機序の探究」
研究代表者 静岡大学 教授 宮崎 真
本学分担者 関口 浩文
- 「成人期の健康と適応に及ぼす小児期体験の影響性ーリスクとレジリエンスの統合的検討ー」
研究代表者 白百合女子大学 教授 菅原ますみ
本学分担者 川島亜紀子

3) 基盤研究 (B)

- 「外国にルーツを持つ乳幼児とその家庭へのアウトリーチをふまえた言語指導の実践」
研究代表者 広島大学 教授 七木田 敦
本学分担者 大野 歩
- 「中近世ヨーロッパ社会における合意形成の起源と展開ー合議制・代議制の理念と現実ー」
研究代表者 放送大学 教授 河原 温
本学分担者 皆川 卓
- 「中近世アルプス地域の空間的・社会的モビリティー：境域の政治・宗教・社会の動的展開」
研究代表者 京都大学 教授 佐藤 公美
本学分担者 皆川 卓
- 「教育経営システムの構造変容に関する総合的研究：社会総掛かりでの教育の実現に向けて」
研究代表者 名古屋大学 教授 南部 初世
本学分担者 平井貴美代
- 「一般教員の教科等横断的な学習デザイン・評価力養成プログラムの開発」
研究代表者 福岡教育大学 教授 豊寫 啓司
本学分担者 後藤賢次郎
- 「社会的実践を志向する学習領域「数理科学」の構築に関する総合的研究」
研究代表者 東京学芸大学 教授 西村 圭一
本学分担者 清水 宏幸
- 「日本・ニュージーランド・イタリアにおける保育カリキュラムの創造と評価の研究」
研究代表者 東洋英和女学院大学 准教授 塩崎 美穂
本学分担者 加藤 繁美
- 「中近世キリスト教世界における「包摂する暴力」ー迫害と寛容の二文法を超えてー」
研究代表者 早稲田大学 教授 甚野 尚志
本学分担者 皆川 卓

「読み書き発達の認知的・環境的要因の解明と早期支援モデルの開発」

研究代表者 岡山大学 准教授 丹治 敬之
本学分担者 松下 浩之

「児童生徒の自己調整学習の能力育成のためのデータ駆動による学習指導・変え低連携の手法」

研究代表者 東北大学 教授 堀田 龍也
本学分担者 三井 一希

「探究的な学びのための中学校教師による自律的授業研究コミュニティ形成に関する研究」

研究代表者 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁
本学分担者 清水 宏幸

「問題解決型PBLを導入した広領域STEM+Aの授業モデル・評価に関する発展的研究」

研究代表者 東京学芸大学 教授 大谷 忠
本学分担者 後藤賢次郎

「高度情報化社会におけるプライバシーの学際的研究」

研究代表者 名古屋大学 特任准教授 上出 寛子
本学分担者 坂田 信裕

「文脈理解可能な「AI話しことばチェッカー」の開発と実証評価」

研究代表者 帝京大学 講師 山下由美子
本学分担者 日永 龍彦

「小学校英語教育に関するエビデンス生成のためのアウトカム指標の開発・検証と公開」

研究代表者 信州大学 教授 酒井 英樹
本学分担者 堀田 誠

「中世ヨーロッパにおける多数決原理の形成に関する多角的実証研究課題」

研究代表者 東京大学 准教授 藤崎 衛
本学分担者 皆川 卓

「強度行動障害の公衆衛生に基づく予防支援方略の開発」

研究代表者 西南学院大学 准教授 倉光 晃子
本学分担者 松下 浩之

「一般情報教育のデジタルトランスフォーメーション (DX)」

研究代表者 静岡県立大学 教授 湯瀬 裕昭
本学分担者 山際 基

4) 基盤研究 (C)

「社会構成主義に基づく探索的・主体的・対話的な保育者の専門性向上に関する研究」

研究代表者 山梨大学 秋山 麻実
本学分担者 高橋 英児
新野 貴則
小島 千か

「〈私小説性〉の計量的分析と国際比較による〈自己語り〉文学の発展的研究」

研究代表者 大正大学 教授 梅澤亜由美
本学分担者 尾形 大

「目的指向の多人数・異文化会話コーパスの構築—共通語としての英語における相互行為」

研究代表者 立命館大学 准教授 谷村 緑
本学分担者 仲本康一郎

「リアルタイムオンライン授業中に今までの授業内容を遡って確認できるシステムの実現」

研究代表者 獨協医科大学 講師 坂東 宏和
本学分担者 坂田 信裕

「中枢神経系評価指標を包括したスポーツ傷害からの安全な復帰判断基準の策定」

研究代表者 東洋大学 准教授 二橋 元紀
本学分担者 関口 浩文

- 「東南アジア・ムスリム社会における「学校化」の教育社会史：植民地期の教育言説と女性」
研究代表者 上智大学 准教授 塩崎 裕子（久志本裕子）
本学分担者 鴨川 明子
- 「レジリエントな社会の構築を目指した生活に関する総合的な認識形成とカリキュラム開発」
研究代表者 愛知教育大学 教授 青木香保里
本学分担者 志村 結美
- 「内因性カンナビノイド発現の性差を考慮したメンタルヘルスケアのための運動方法の構築」
研究代表者 山梨学院大学 講師 矢部 哲也
本学分担者 安藤 大輔
- 「触察教育のための「さわる絵本」の研究および制作プログラムの開発・実践」
研究代表者 山梨県立大学 准教授 古屋 祥子
本学分担者 武末 裕子
- 「日本人の共生意識に基づいた子育て・子育てのための共生型集住に関する研究」
研究代表者 大妻女子大学 教授 大橋寿美子
本学分担者 志村 結美
- 「教員の職能成長を支えるメンタリングの国際比較—指導（メンター）に着目して」
研究代表者 新潟医療福祉大学 教授 吉田 重和
本学分担者 鴨川 明子
- 「保育者による身体活動量と基本的動作を考慮した運動遊びの実施の有用性と継続性の検討」
研究代表者 共栄大学 講師 篠原 俊明
本学分担者 中村 和彦
- 「英語教師の成長を促す実践共有コミュニティにおけるメンターの役割と課題の解明」
研究代表者 青山学院大学 教授 高木亜希子
本学分担者 田中 武夫
- 「自閉症児の「迷い、相談し、解決する」支援プログラム開発：学習科学からのアプローチ」
研究代表者 実践女子大学 教授 長崎 勤
本学分担者 吉井 勘人
- 「日々の学習を通じた自己調整スキルの育成—自己調整サイクルと習得サイクルの接合」
研究代表者 日本大学 教授 篠ヶ谷圭太
本学分担者 小野田亮介
- 「対人競技における動作切替の技能の解明」準備—初期段階の情報処理の影響」
研究代表者 東京学芸大学 准教授 奥村 基生
本学分担者 木島 章文
- 「抑うつ状態にともなう視知覚の片側性と高次行動の維持・調整機構の解明」
研究代表者 上武大学 教授 竹内 成生
本学分担者 関口 浩文
- 「運動学習をもたらす神経基盤の解明」
研究代表者 高知工科大学 准教授 門田 宏
本学分担者 関口 浩文
- 「知的・発達障害児のためのゲームと情報技術を融合させた発達支援システムの開発」
研究代表者 山梨大学 助教 杉浦 篤志
本学分担者 吉井 勘人

編集後記

『山梨大学教育学部紀要 第34号』をお届けいたします。ご投稿いただきました方々の真摯な研究活動と丁寧に編集作業をしていただきました委員の方々、お力添えいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

ここに示された成果が、学術研究の分野、学生教育、地域社会の発展の糧とならんことを祈念しております。

(2024年2月 平野千枝子 記)

山梨大学教育学部紀要 第34号

2024年2月21日発行

発行者 山梨大学教育学部

発行所 山梨大学教育学部

山梨県甲府市武田4丁目4-37

編集 山梨大学教育学部研究紀要委員会

平野千枝子 塚越 奈美 今井 千裕

梶原 郁郎 加藤 千晶 森長 久豊

納本 有限会社 タクト

山梨県韮崎市大草町下條中割711-6